

一般質問 議:議員/理:理事者

- 勝山農業男子・農業女子について
- 「生成AI」を授業で使用する
ことについて



下牧 一郎 議員



議 一次産業である農業、漁業、林業等の自然と大きく関わる産業を大切に育てていく事が市政繁栄の根幹であり、人口減少を止め消滅可能性都市から抜け出して魅力ある勝山を創り上げることになると強く思う。今後の勝山農業男子・農業女子の施策について見解を伺う。

理 令和3年9月に、当市で頑張っている若手農業者を勝山農業男子・農業女子と位置づけ、応援プロジェクトを開始した。マルシェを実施したり、イベント事業に参加、出展したり、年間の活動頻度は増えてきている。令和6年1月には、応援プロジェクト参加メンバーを含め11名の若手農業者が、事業者同士の繋がりや活動の幅を広げて当市の農業を盛り上げるため、新たな団体ディノファーマーズを立ち上げ、独自事業として学校給食への地元食材の提供の実現に向けた取組を行ったりもしている。

市としても、若手農業者達の主体的な取組を支援するとともに、活動状況の情報発信を行い、応援に努めていきたい。

議 コンピューター技術の飛躍的な進歩で、文章はもちろんのこと音声や画像等、色々な物が生成AI（人工知能）で作られるようになり、身近な存在になってきた。そこで勝山市の小中学校では、生成AIを活用した授業、または生成AIに適応するような指導等は行われているのか伺う。また、近隣市町の状況等も研究していると思うが、今後どのような展望を考えているのか伺う。

理 小中学校での生成AIの利用は、国が暫定的なガイドラインを作成し教育への活用について慎重に進めていることもあり、勝山市では生成AIを活用した授業での取組はまだない。AIは生活の中にどんどん入ってきており便利に使っていききたいものなので、学校教育でもポジティブに活用するようにしたい。近隣市町も同じ状況であり、今後はデジタルシティズンシップ教育をアップデートし、児童生徒が生成AIを正しく使える能力を身につけられるよう指導するとともにこれを活用した授業の研究を進めたい。

一般質問 議:議員/理:理事者

- 新中学校は、市長選の市民判断より、市長権限を優先するのか
- えちぜん鉄道をサンプラザ前に
引込むことを再検討すべき

その他の質問

- ・今年11月末に実施される勝山市長選挙に向けた動きについて
- ・市長選挙では「市民が、勝山市の夢のある未来を語り実践する」政策が必要



日本共産党 山田 安信 議員



議 ①中学校の計画凍結と再検討を求める署名が8千人を超え、前回の2倍に増えたのに、市民の声を聞かず強行するのが水上市長の特徴だ。市長選挙で中学校問題が争点になると考えないのか。

②中学校は選挙結果で判断するのが適切だが、校舎工事の議案は、選挙直前の11月臨時議会か、たとえ落選しても12月議会に提出する考えなのか。

③地下通路の先行着工は、校舎工事との関連で工事差止や善管注意義務違反で提訴される可能性がある。それでも強行するのか。

理 ①3月定例会の議決を踏まえ、新中学校建設特別委員会にて進捗状況や協議内容の報告、説明を行い、議員からも様々なご意見、ご要望等をいただきながら進めているところである。今後も遅滞なく準備を進めていきたい。

②令和9年4月の開校に向け、できるだけ早く議会にお諮りしたいと考えているが、現時点ではその時期が未定なため、今後、特別委員会等でご相談したい。

③3月議会でお認めいただいた関係の予算と条例の一部改正に基づき、その実現に向けて遅滞なく業務を遂行していくことが我々に課せられた責務であると考えている。

議 ①福井県の報告書で、勝山橋に電車を走らせることは可能なので、市街地引込みを再検証すべき。

②サンプラザ前が電車とバスのターミナルだと中心市街が活性化する。新中学校、こども会館・公園等の計画を再検討すべき。

理 ①平成27年度に、福井鉄道たけふ新駅からえちぜん鉄道鷺塚針原駅までの区間で、両鉄道の相互乗り入れが実施されると同時に低床車両も導入されたが、えちぜん鉄道勝山永平寺線の各ホームが低床車両に対応できていないうえ、市街地においても元禄線の勾配が急である等の課題があり、費用面も含め実現の可能性はない。

②教育会館をこども会館とし周辺施設と連携を取ることで、幅広い世代が利用しやすいエリアになると考えており、中央公園と一体的に整備して設置することが最適と考えている。